

<b>教科〔社会歴史〕</b> <b>第〔1・2〕学年</b>	<b>年間指導計画</b>	
<b>* 到達目標</b>	<b>月</b>	<b>学習内容</b>
<p>(1)日本の歴史の流れと各時代の特色を、他の国との関わりの中で理解する。</p> <p>(2)歴史上の人物の生き方や現存する文化遺産の学習を通して、日本の伝統や自分の生き方について考える。</p> <p>(3)日本の歴史に見られる国際関係や文化交流について理解し、他の国の文化・生活に関心を持ち、国際協調の精神を養う。</p> <p>(4)身近な地域の学習を通して、地域の歴史にも関心を持つと共に、資料を集めたり、活用したりする力を養う。</p>	<p>6</p> <p>10</p>	<p>1年</p> <p>1章 歴史の流れ</p> <p>2章 古代までの日本</p> <p>1 文明のおこり</p> <p>2 古代国家の歩みと東アジア世界</p> <p>3章 中世の日本</p> <p>1 武士の台頭と鎌倉幕府</p> <p>2 東アジア世界とのかわりと社会の変動</p>
<p><b>* 評価の観点・方法</b>                      (年間指導計画「評価の観点」欄の番号と一致)</p> <p>①関心・意欲・態度 (提出物=ノート)                      授業に積極的に取り組み、歴史に対する関心を高め、意欲的に追求しようとする。</p> <p>②思考・判断 (小テスト)                      日本の歴史の流れと各時代の特色を理解し、課題や問題点について考察できる。</p> <p>③技能・表現 (小テスト)                      学習に必要な資料を集めて活用し、まとめて発表できる。</p> <p>④知識・理解 (小テスト)                      歴史学習に必要な基本用語を身につけ、日本の歴史の流れと他の国との関わりを理解している。</p>	<p>11</p> <p>3</p>	<p>4章 近世の日本</p> <p>1 ヨーロッパ人との出会いと全国統一</p> <p>2 江戸幕府の成立と鎖国</p> <p>3 産業の発達と幕府政治の動き</p>
<p><b>* 使用教材</b>                      教科書 中学校社会科 歴史的分野 東京書籍                      ワーク 新・地理の学習2 正進社 新・歴史の学習2 正進社</p>	<p>6</p>	<p>2年</p> <p>5章 開国と近代日本の歩み</p> <p>1 欧米の進出と日本の開国</p> <p>2 明治維新</p> <p>3 日清・日露戦争と近代産業</p>
<p><b>* 学習上の注意・助言</b></p> <p>○授業道具を忘れない。</p> <p>○授業中、先生の説明をよく聞き、積極的に発言する。                      ・発言(質問)をする時は、挙手をして発言する。                      ・みんなが聞き取れるような声で発言する。                      ・発言を求められてわからない時は、「わかりません。」「もう少し時間を下さい。」などはっきり言う。                      ・発言者の意見は最後まで聞く。聞き終えてから次の発言をする。</p> <p>○授業の中で、疑問に思ったことやわからないことがあれば質問する。</p> <p>○考える問題の時は、教科書や資料を活用して、自分の考えをしっかりと持ち、話し合いの場面では、自分の考えをはっきり言う。</p> <p>○授業の内容をノートに記録する。その際、板書だけでなく、先生の説明・自分の考えや授業の感想などもまとめておく。</p>	<p>1</p> <p>2</p> <p>3</p>	<p>6章 二度の世界大戦と日本</p> <p>1 第一次世界大戦とアジア・日本</p> <p>2 世界恐慌と日本の中国侵略</p> <p>3 第二次世界大戦とアジア</p> <p>7章 現代の日本と世界</p> <p>1 日本の民主化と国際社会への復帰</p> <p>2 国際社会と日本</p>
<p><b>* 家庭学習の仕方</b></p> <p>○授業の前日に、家庭で教科書を読む。その際、わからない語句や用語があれば、調べておく。</p> <p>○授業後、興味をもったことについて調べ、ノートに記録しておく。</p> <p>○授業後、ワークを利用して基礎的な用語を覚える。覚えにくい事柄や漢字があれば、何回か書いて覚える。</p> <p>○定期テストの前は、教科書・ノート・ワークを利用して基礎的な用語を覚えると共に、歴史上の出来事の「原因」「経過」「結果」について説明できるようにしておく。また、それぞれの時代の資料からわかることを確認し、その時代の特色について表現できるようにしておく。</p>		

<b>教科</b> 〔社会地理〕 <b>第</b> 〔1・2〕 <b>学年</b>	<b>年間指導計画</b>	
	<b>月</b>	<b>学習内容</b>
<p><b>* 到達目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本や世界的事象に対する関心を高め、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土に対する認識を養う。</li> <li>・地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し、地域的特色をとらえるための視点や方法を身につける。</li> <li>・各地域の特色には地域特殊性と一般的共通性があること、また、それらは諸条件によって変容していることを理解する。</li> <li>・様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。</li> </ul>	<p>4</p>	<p>1年</p> <p>第1編 世界と日本の地域構成          どれだけ知っているかな          1章 地球のすがた          2章 世界のすがたとさまざまな地域          3章 日本のすがたとさまざまな地域</p>
<p><b>* 評価の観点・方法</b>          評価の観点・方法（年間指導計画「評価の観点」欄の番号と一致）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 関心・意欲・態度(提出物＝ノート、ワーク)              授業に積極的に取り組み、地理的分野についての関心を高め、意欲的に追求しようとする。</li> <li>2. 思考・判断(定期テスト、小テスト)              各地域の特色を理解し、課題や問題点について考察できる。</li> <li>3. 技能・表現(定期テスト、小テスト)              学習に必要な資料を集めて活用し、まとめて発表できる。</li> <li>4. 知識・理解(定期テスト、小テスト)              地理的学習に必要な基本用語を身につけ、日本の各地域、日本と他の国との関わりを理解している。</li> </ol>	<p>9</p>	<p>第2編 地域の規模に応じた調査          第1章 身近な地域の調査          第2章 都道府県の調査</p>
<p><b>* 使用教材</b>          教科書 中学校社会科 地理的分野 東京書籍          ワーク 新・地理の学習1 正進社          新・歴史の学習1 正進社</p>	<p>4</p>	<p>2年</p> <p>3章 世界の国々の調査          1 多面的に調べよう          2 テーマを決めて調べよう          3 比較や関連の視点から調べよう</p>
<p><b>* 学習上の注意・助言</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業道具を忘れない。</li> <li>・授業中、先生の説明をしっかりと聞く。</li> <li>・発言者の意見をしっかりと聞く。</li> <li>・ノートの記入をきちんとすることと自分でまとめたことも記入する</li> </ul>	<p>9</p>	<p>第3編 世界から見た日本の調査          1章 ささまざまな面から見た日本          2章 ささまざまな視点から見た日本          1 日本の自然環境          2 日本の人々の暮らし          3 世界と日本の人口          4 世界と日本の産業・資源          5 広がる地域間の結びつき</p>
<p><b>* 家庭学習の仕方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭で地図を見る習慣を身につける。・新聞、テレビニュースには気をつけておく。</li> <li>・旅行したときはパンフレットをしっかりと見る。授業の復習をする。</li> </ul>	<p>10</p> <p>11</p> <p>12</p>	